



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 NEW ART

コード番号 7638 URL <http://www.newart-ir.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 哲也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 松橋 英一

TEL 03-3567-8098

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	3,702	38.8	386	105.0	387	114.4	297	110.4
28年3月期第1四半期	2,668	79.0	188	—	180	—	141	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 299百万円 (112.0%) 28年3月期第1四半期 141百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第1四半期	0.90	—
28年3月期第1四半期	0.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	11,078	6,198	55.9
28年3月期	10,766	5,898	54.8

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 6,198百万円 28年3月期 5,898百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	6,323	4.9	539	△27.2	506	△30.5	413	△41.8	1.24
通期	13,272	4.1	1,226	△31.0	1,193	△32.2	938	△27.9	2.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (注) 詳細は、添付資料P4.「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	332,527,514 株	28年3月期	332,527,514 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	108,972 株	28年3月期	108,675 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	332,418,813 株	28年3月期1Q	332,420,754 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法にもとづく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想の見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、[添付資料]P3.「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年6月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより、緩やかな回復基調が続いており、消費者物価もそれに伴って緩やかに上昇しつつあります。しかしながら、海外経済の不確実性による国内経済への影響には、充分留意する必要があると考えております。なお、この4月に発生した平成28年熊本地震による当社の全体業績への影響は極めて軽微であります。

このような経済状況のもと、当第1四半期連結累計期間における、当社グループの業績は、主力のジュエリー事業の売上面で、集客数や成約率が前年同四半期と比較して増加しました。これに加えて経費面での増加は前年に近い金額で抑制されたことにより、利益面についても好成績となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高37億2百万円（前年同四半期比38.8%増）、営業利益3億86百万円（前年同四半期比105.0%増）、経常利益3億87百万円（前年同四半期比114.4%増）となりました。また、当社は、収益性の向上および業務効率化の観点から1店舗の移転を決定し、特別損失として9百万円を計上しました。以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億97百万円（前年同四半期比110.4%増）となりました。

セグメントごとの状況は以下のとおりです。

①ジュエリー・アート事業

当第1四半期連結累計期間における、ジュエリー・アート事業の売上高は28億54百万円（前年同四半期比50.5%増）、セグメント利益は3億59百万円（前年同四半期比102.8%増）となりました。前期から引き続き、Web媒体に力点を置いた集客を進めたことで来店客数が増加したことに加え、営業組織力を強化することで成約率・平均単価も上昇し、売上高は引き続き伸長しました。また、アート事業での美術作品の販売においても、売上高・利益額を上乗せすることができました。

なお、平成28年3月新設の銀座ダイヤモンドシライシ町田マルイ店、4月新設の銀座ダイヤモンドシライシ盛岡店、エクセルコダイヤモンド盛岡店についても、来店客数・成約件数は、開店以降増加しており売上・利益に貢献しております。

②エステ事業

当第1四半期連結累計期間における、エステ事業の売上高は8億48百万円（前年同四半期比10.0%増）、セグメント利益は36百万円（前年同四半期比106.4%増）となりました。期首に新卒採用によるエステティシヤンの大幅増員を図ったことにより、施術売上の増加が進むと同時に、リピート契約の強化と店販商品の販売促進によって、売上の拡大が進みました。

なお、この平成28年7月1日より商号を株式会社NEW ARTに変更し、既存事業の拡大はもとより、現時点では非連結の新規事業の育成や新しい事業の開始により、グループ全体での企業価値の向上へ向け、新しい体制作りの基盤が整備されました。

当社グループのセグメント別売上は、以下のとおりであります。

セグメントの名称	販売・サービスの名称など	当第1四半期連結累計期間（千円） （自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）	前年同四半期比 （%）	構成比 （%）
ジュエリー・アート事業	ブライダル関連・美術品の販売・サービス	2,853,941	150.4	77.1
エステ事業	エステティックサロンの運営、化粧品等の販売	848,972	110.0	22.9
合 計		3,702,914	138.8	100.0

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含んでおりません。
 2. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3. 「ジュエリー・アート事業」は、ブライダルジュエリー・ファッションジュエリー・アートジュエリー・美術品の販売およびウェディング送客サービス、ティアラ・レンタルサービスの売上となっております。
 4. 「エステ事業」は、連結子会社のエステ施術サービスおよび化粧品・栄養食品・美容機器販売の売上となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末比2億7百万円増加（前連結会計年度末比2.9%増）し、73億82百万円となりました。主な要因として、新規出店・関連会社への出資および仕入を強化したことにより現金及び預金は13億22百万円減少しました。その反面、受取手形及び売掛金は3億94百万円増加し、商品及び製品は10億32百万円増加となりました。

固定資産は、前連結会計年度末比1億4百万円増加（同2.9%増）し、36億95百万円となりました。主な要因としては、有形固定資産の増加37百万円、投資有価証券の増加50百万円などによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末比3億11百万円増加（同2.9%増）し、110億78百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末比38百万円増加（前連結会計年度末比0.9%増）し、43億14百万円となりました。主な要因としては、短期借入金の増加3億50百万円、前受金の増加95百万円、未払法人税等の減少2億75百万円などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末比26百万円減少（同4.5%減）し、5億65百万円となりました。主な要因としては、長期借入金の減少23百万円などによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比12百万円増加（同0.2%増）し、48億80百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末比2億99百万円増加（前連結会計年度末比5.1%増）し、61億98百万円となりました。主な要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加2億97百万円によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は55.9%（前連結会計年度末は54.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の第1四半期連結の業績は好調に推移しましたが、今後の業績につきましては、現時点では不確実な部分もありますので、平成29年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想について、平成28年5月10日公表の業績予想から変更はありません。なお今後、業績予想について変更がある場合は速やかに公表いたします。

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は業況の変化や予期せぬ事象の発生などによって、大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,535,917	1,213,546
受取手形及び売掛金	1,823,217	2,217,317
商品及び製品	2,445,625	3,477,978
原材料及び貯蔵品	82,002	84,167
前払費用	122,878	134,277
短期貸付金	3,100	106,000
繰延税金資産	128,278	111,449
その他	37,021	49,672
貸倒引当金	△3,022	△11,462
流動資産合計	7,175,019	7,382,946
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	692,448	705,394
車両運搬具（純額）	0	848
工具、器具及び備品（純額）	883,798	919,958
建設仮勘定	14,582	2,000
有形固定資産合計	1,590,829	1,628,201
無形固定資産		
ソフトウェア	17,126	15,076
電話加入権	4,932	4,932
のれん	387,185	381,905
その他	100	100
無形固定資産合計	409,344	402,014
投資その他の資産		
投資有価証券	66,930	116,930
長期前払費用	15,580	13,566
関係会社長期貸付金	213,300	243,300
敷金及び保証金	1,030,027	1,024,097
繰延税金資産	11,885	11,218
その他	266,792	269,392
貸倒引当金	△13,521	△13,521
投資その他の資産合計	1,590,996	1,664,984
固定資産合計	3,591,169	3,695,200
資産合計	10,766,189	11,078,147

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	154,516	137,805
短期借入金	1,800,000	2,150,000
1年内返済予定の長期借入金	99,140	99,140
未払金及び未払費用	536,317	548,951
未払法人税等	351,031	75,961
前受金	1,107,236	1,203,203
その他	227,166	99,192
流動負債合計	4,275,408	4,314,255
固定負債		
長期借入金	400,860	377,380
退職給付に係る負債	188,755	185,928
長期末払金	2,538	2,010
その他	500	500
固定負債合計	592,653	565,819
負債合計	4,868,062	4,880,075
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,617,252	2,617,252
資本剰余金	2,376,152	2,376,152
利益剰余金	909,143	1,206,784
自己株式	△2,040	△2,052
株主資本合計	5,900,507	6,198,137
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,380	△65
その他の包括利益累計額合計	△2,380	△65
純資産合計	5,898,127	6,198,071
負債純資産合計	10,766,189	11,078,147

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	2,668,442	3,702,914
売上原価	1,046,480	1,843,237
売上総利益	1,621,962	1,859,676
販売費及び一般管理費	1,433,411	1,473,215
営業利益	188,550	386,460
営業外収益		
受取利息	37	1
為替差益	—	6,949
その他	967	649
営業外収益合計	1,005	7,600
営業外費用		
支払利息	5,289	6,150
社債利息	171	—
為替差損	3,183	—
営業外費用合計	8,644	6,150
経常利益	180,911	387,910
特別損失		
減損損失	—	9,685
特別損失合計	—	9,685
税金等調整前四半期純利益	180,911	378,224
法人税、住民税及び事業税	38,940	63,087
法人税等調整額	506	17,495
法人税等合計	39,446	80,583
四半期純利益	141,464	297,640
親会社株主に帰属する四半期純利益	141,464	297,640

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	141,464	297,640
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	53	2,315
その他の包括利益合計	53	2,315
四半期包括利益	141,517	299,955
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	141,517	299,955

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ジュエリー・ア ート事業	エステ事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,896,988	771,454	2,668,442	—	2,668,442
セグメント間の内部売 上高又は振替高	2	—	2	△2	—
計	1,896,991	771,454	2,668,445	△2	2,668,442
セグメント利益	177,039	17,613	194,652	△6,102	188,550

(注) 1. セグメント利益の調整額6,102千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「エステ事業」セグメントにおいて、当第1四半期累計期間ののれんの償却額は、5,279千円であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ジュエリー・ア ート事業	エステ事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,853,941	848,972	3,702,914	—	3,702,914
セグメント間の内部売 上高又は振替高	101	—	101	△101	—
計	2,854,042	848,972	3,703,015	△101	3,702,914
セグメント利益	359,053	36,349	395,402	△8,942	386,460

- (注) 1. セグメント利益の調整額8,942千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ジュエリー・アート事業」セグメントにおいて、移転が決定した店舗資産及びその原状回復に係る費用の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、9,685千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「エステ事業」セグメントにおいて、当第1四半期累計期間ののれんの償却額は、5,279千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。